

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和2年度 第2回 相模原市簡易水道事業審議会				
事務局 (担当課)		津久井土木事務所 電話042-780-8210(直通)				
開催日時		令和2年10月15日(木) 午後1時00分～5時10分				
開催場所		市内水道施設、藤野中央公民館 3階 大会議室				
出席者	委員	6人(別紙のとおり)				
	その他	1人(神奈川県随行者)				
	事務局	6人(道路部長、津久井土木事務所長、他7人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	-
公開不可・一部不可の場合は、その理由		現地視察に伴う移動があり、会議の開始時間が未定であったことから、議事を円滑に進行するため、傍聴を行わないこととした。				
会議次第		1 開 会 2 現地視察 3 議 題 (1) 水道に関するアンケートの概要について 4 その他 5 閉 会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開 会

2 現地視察

次の水道施設の現地視察を行った。

青根浄水場、 エビラ沢取水場、 大久和新水源、 大久和配水池

3 議 題

(1) 水道に関するアンケートの概要について

事務局より水道に関するアンケートの概要について説明を行った。

事務局からの説明に対する主な意見等は次のとおり。

青根地区は定額制だが、水道使用量は請求書や通知によって確認できるのか。

使用料決定通知に記載しており、アンケートをきっかけにそうした情報を確認していただきたいとも考えている。

使用料の支払いを口座振替にしていると、使用量についてあまり意識しないと思う。

以前に、施設管理の民間委託を検討していると伺ったが、そうしたことをアンケートで尋ねないのか。

施設管理の民間委託による経営の合理化について必要だと考えており、審議会で意見をいただきたい。現時点ではアンケートへの反映は考えてはいない。

○こういうアンケートはこれまでにやったことがあるのか。

初めてだと思われる。

○第1回審議会において、使用者の皆さんの水道への認識や感じていることについて、意見をいただいた方が良いのではといったことから、アンケートを

行うことになった。問7については、不安や問題を聞くことで、これから審議会を進めていくニーズ、取組む必要性なども確認できるのではないかと思います追加していただいた。問8に自由意見もあるので、幅広い意見を聞くことができるのではないかと考えている。また、項目が多くあると答える方も大変なので、シンプルに1枚にまとめたことは良いと思う。

アンケートの右上の地区名に吹き出しで送付枚数や給水件数が示してあるが、地区毎に給水件数に対して送付枚数が決まっており、全数の調査でないという意味でよろしいか。

そのとおりである。送付時にアンケート用紙に地区名を記載しておくことで集計しやすくした。

問5の水道料金の設問の選択肢について、どちらともいえないとあるが、良いとか適切といった表現に変えた方が良いのではないか。意見がないという意味にならないか。

ご指摘のとおり、適切または適当であるといった選択肢に訂正したい。

問5、6、7を使用者が見たときに、何のためにアンケートを実施するのか疑問に感じるのではないか。アンケートに前段として、どうして実施するのか但し書きを入れるなどの検討をお願いしたい。

もう少し丁寧に前振りを書かせていただきたい。

こうしたアンケートが実施されると急に何かが起こるのではないかと不安に思われる使用者の方もいるかもしれない。

今回は全数調査ではなく3分の1くらいの件数だが、対象者の抽出はランダムに行うのか。

無作為に抽出する予定である。

このアンケートは審議会で検討を進める上で、一つの情報として活用できると考えるが、アンケート結果は使用者の方へフィードバックすることはあるのか。

審議会で意見があればフィードバックしたい。使用者にお便りを不定期に発送しており、今年度2回実施している。アンケート結果についても掲載したい。

使用者からすると、アンケートが届いたら、今後どうなっていくのか疑問を感じると思う。アンケートの目的をフィードバックするか、広報紙に載せるなどしていただくと良いのではないか。旧市域側に同じアンケートを取ったらどういう傾向が出るのかは興味がある。

4 その他

その他の意見等については次のとおり。

本日の視察において、小規模水道組合のエリアがいくつかあったが、その運営は完全に組合が行っているのか。市で技術支援や財政支援などは行っているのか。

昨年度末で市営簡易水道と小規模水道組合との統合整備事業が終わり、12の小規模水道組合が存在している状況である。市の水道ビジョンにおいては、11の小規模水道が残る予定だったが、1つの組合からは統合せず独立して運営していきたいという要望があったことから統合を見送った。組合の経営は地元で行っており関与はしてないが、工事に関しては補助する制度がある。

長又や菅井地区は、簡易水道と統合整備を行い、市に移管されるのか。

現状では市に移管するという予定はなく、組合で運営していただくことになる。

市に移管する検討はされていないのか。

現段階では統合する計画はない。

組合は独自に運営をされていて、料金徴収などは組合独自のルールで行っているのか。町内会の組合のように集金されているのか。

地元の方の話聞く限りでは、半年など定期的に料金徴収を行ったり、メーターで算定しているところもあるようである。組合の財政規模や運営規模によって異なっていると思われる。

技術者とか運転管理が必要だと思うが、組合に詳しい方はいるのか。

保健所への届出のみで水道技術管理者を置かず、資格を持った方が組合に関与はしていないと思う。

長又の組合は青根地区と対岸で、青根地区とは同じ自治会構成員でもある。簡易水道事業における審議会の検討状況等について周知した方が良いのではないか。水道は公共インフラの一つであり、地域格差のようなものがあってはならず、組合に対して市からアプローチをしていく必要があるのではないか。

小規模水道組合の問題は、市として判断しなくてはならないと思う。本審議会において議論をするのは難しいことから、参考意見として市に持ち帰り報告させていただきたい。

残された12の組合は、おそらく過去に経過があり、統合せずに組合のままになっているのだと思われる。本審議会では簡易水道について審議を進めていきたいと思うが、この話は市に持ち帰り関係の部署に申し伝えていただきたいと思う。

本審議会で組合の件の取り扱いが難しいなら、別建てで市として対策を講じていただきたいと思う。

諸々の天変地異の対応など、組合ではどうにもならない地域もある。そうしたことを考慮いただきたい。

組合の使用者は自分たちの水に自負しこだわりを持ってきたのかもしれないが、近年の災害の施設被害等もあり、5年前とはかなり考えが変わってきていると思う。そうした組合への救済措置が必要だと考える。

5 閉 会

以 上

相模原市簡易水道事業審議会（第2回）委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	荒井 康裕	東京都立大学都市環境学部 准教授	会長	出席
2	笹原 俊一	公益社団法人日本水道協会調査部調査課 労働係長		出席
3	鈴木 諒太	公募市民		出席
4	関戸 正文	相模原市青根水道委員会 委員		出席
5	松原 沙織	東海大学政治経済学部 教授	副会長	欠席
6	丸山 博司	相模原市藤野地区自治会連合会 監事		出席
7	渡邊 素広	神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課 副課長		出席